
総社市議会に関するアンケート

－ 報告書 －

平成27年（2015年）7月
総社市議会

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
III 調査結果	4
1. 市議会への関心度	4
2. 市議会だよりの閲読状況	6
3. 市議会ホームページの閲覧状況	8
4. 「議会報告会」・「議会フォーラム」の参加状況	10
5. 本会議の傍聴経験	12
6. 市議会に対する評価	14
7. 市民の意見や声の議会への反映	16
8. 市議会改革の必要性	18
9. 議会の課題について	20
10. 議員数について	22
11. 適正と思う議員定数	24
12. 議員報酬について	26
13. 適正と思う議員報酬	28
14. 政務活動費について	30
IV 平成24年7月実施アンケート調査結果との比較	32
資料1 調査票	35
資料2 アンケート依頼文	40
資料3 アンケート添付資料「県下15市議会の状況」	41
資料4 アンケート添付資料「『政務活動費』とは」	42

I 調査の概要

【調査の目的】

総社市議会に対する市民の意見等を把握し、今後の議会改革の参考とするために実施した。

【調査地域】

総社市全域

【調査対象】

本市に居住する20歳以上の市民（男女各1,000人）

【対象者抽出方法】

住民基本台帳による無作為抽出

【調査方法】

郵送配布，郵送回収

【調査時期】

平成27年（2015年）4月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000 件

有効回収数 ----- 648 件

有効回収率 ----- 32.4%

◆地区別回収状況（上段：回答件数，下段：構成比％）◆

【合計】	総社地区	常盤地区	三須地区	服部地区	阿曾地区	池田地区	秦地区
100.0	36.1	11.7	5.1	2.9	4.8	2.2	4.5
648	234	76	33	19	31	14	29
神在地区	久代地区	山田地区	新本地区	昭和地区	山手地区	清音地区	無回答
2.5	5.1	1.5	2.5	4.8	6.3	7.1	2.9
16	33	10	16	31	41	46	19

【報告書の見方について】

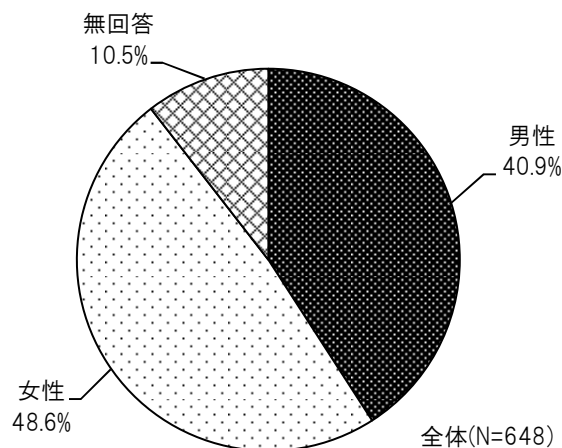
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とする質問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表，図表，文中に示すNは，比率算出上の標本数（基数）である。全標本数を示す「全体」を「N」，該当数*を「n」で表記している。
- (4) 図表中における性別，年齢別などのクロス集計結果については，該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば，年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため，属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し，回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%，0.1%など）は，図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。
- (6) 複数回答の図表中においては，見やすさを考慮し，回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (7) 設問によっては，平成24年（2012年）4月に実施した調査（以下「前回調査」と表記）との比較を行っている。
- (8) この他，個別に参照事項がある場合は，本報告書の該当箇所に適宜記載した。

※(例)問Aで1と回答した人のみが，問Bを答える場合の問Bの基数，あるいはクロス集計における「男性」や「20歳代」…など，限定された回答者数

Ⅱ 回答者の属性

1. 性別構成

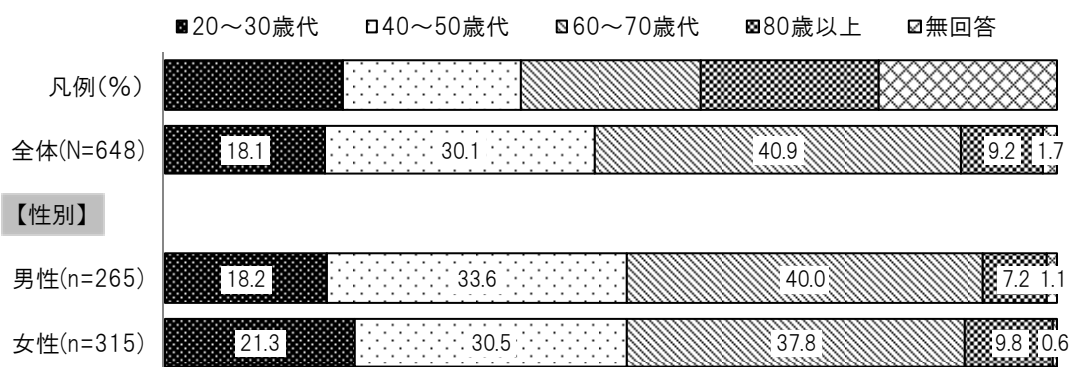
性別の構成は「男性」が40.9%、「女性」が48.6%で、女性の割合が高くなっている。



2. 年齢

年齢は、「60～70 歳代」が40.9%と最も高く、次いで「40～50 歳代」(30.1%)、「20～30 歳代」(18.1%)と続き、「80 歳以上」は9.2%となっている。

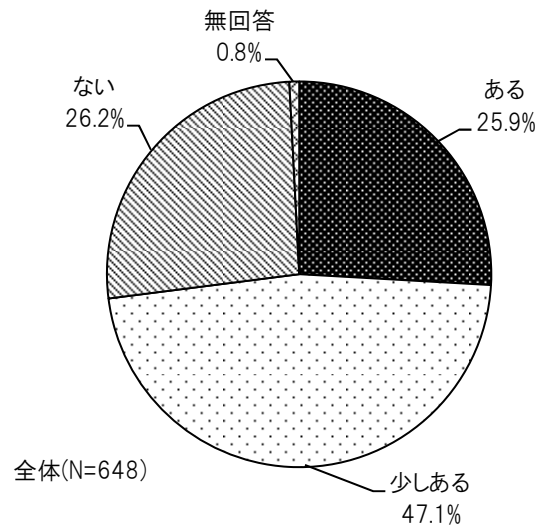
性別でみると、男性は女性に比べ「60～70 歳代」の割合がやや高く、女性は「20～30 歳代」の割合がやや高くなっているが、大きな差は目立たない。



Ⅲ 調査結果

1. 市議会への関心度

問1. 市議会に関心がありますか。



市議会への関心については「ある」が25.9%、「少しある」が47.1%で、合計7割以上(73.0%)が『関心がある』と回答している。

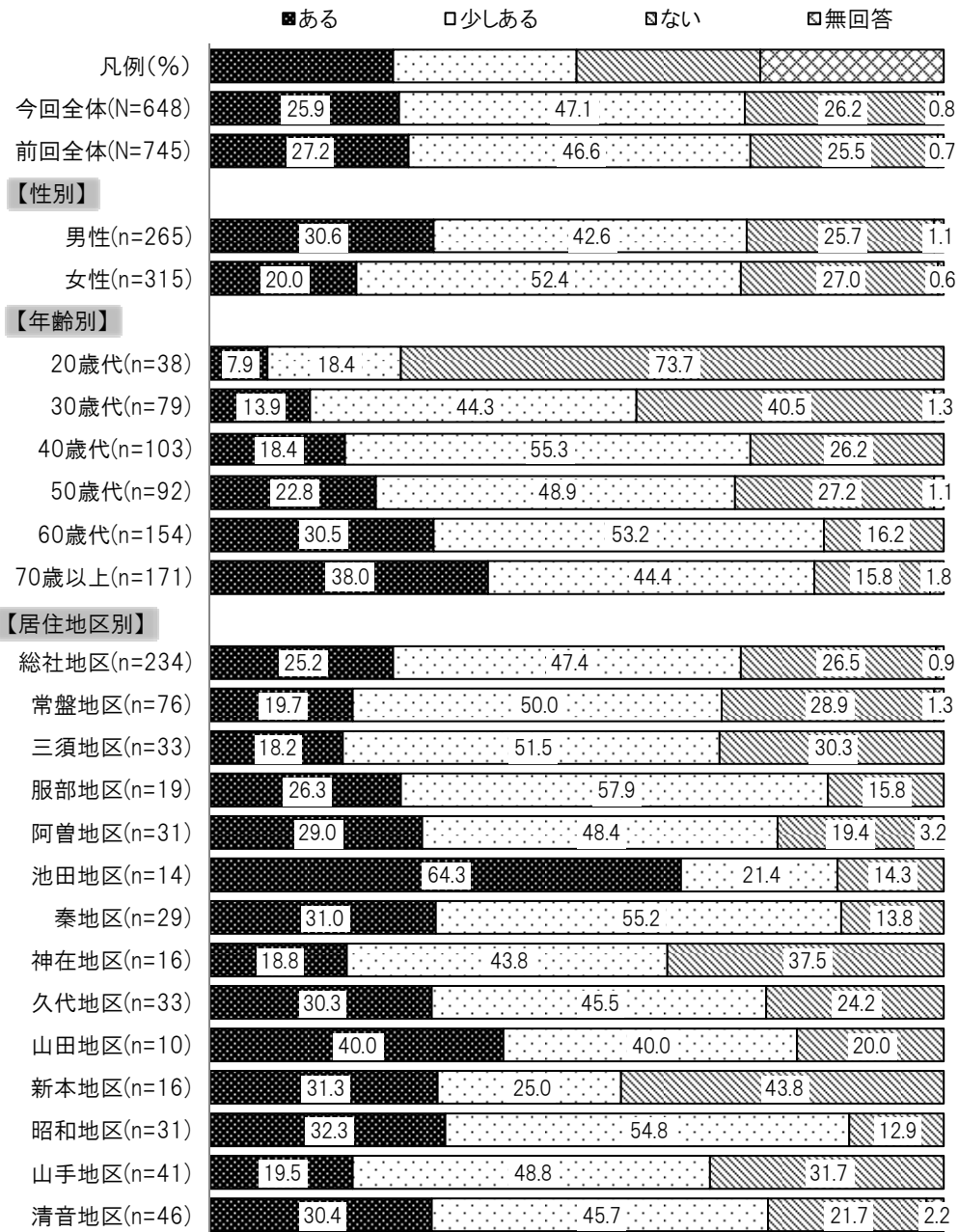
前回調査との比較では大きな変化は目立たない。

性別では、男性の「ある」割合は3割を占めるが、女性は2割となっており、男性で関心度が高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「ある」への回答も高くなる傾向にあり、特に70歳以上では4割近くを占めている。

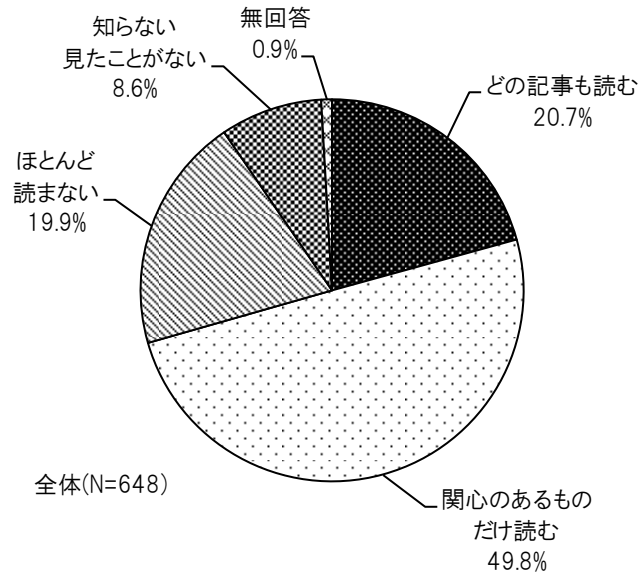
居住地区別では、池田地区の「ある」割合が6割以上を占め、他の地区に比べて突出して高い。

◆問1. 市議会への関心度◆



2. 市議会だよりの閲読状況

問2. 「市議会だより」を読んでいますか。



市議会だよりの閲読状況については、「関心のあるものだけ読む」の割合が約半数（49.8%）を占め最も高く、「どの記事も読む」（20.7%）と合計した『閲読率』は7割（70.5%）となっている。

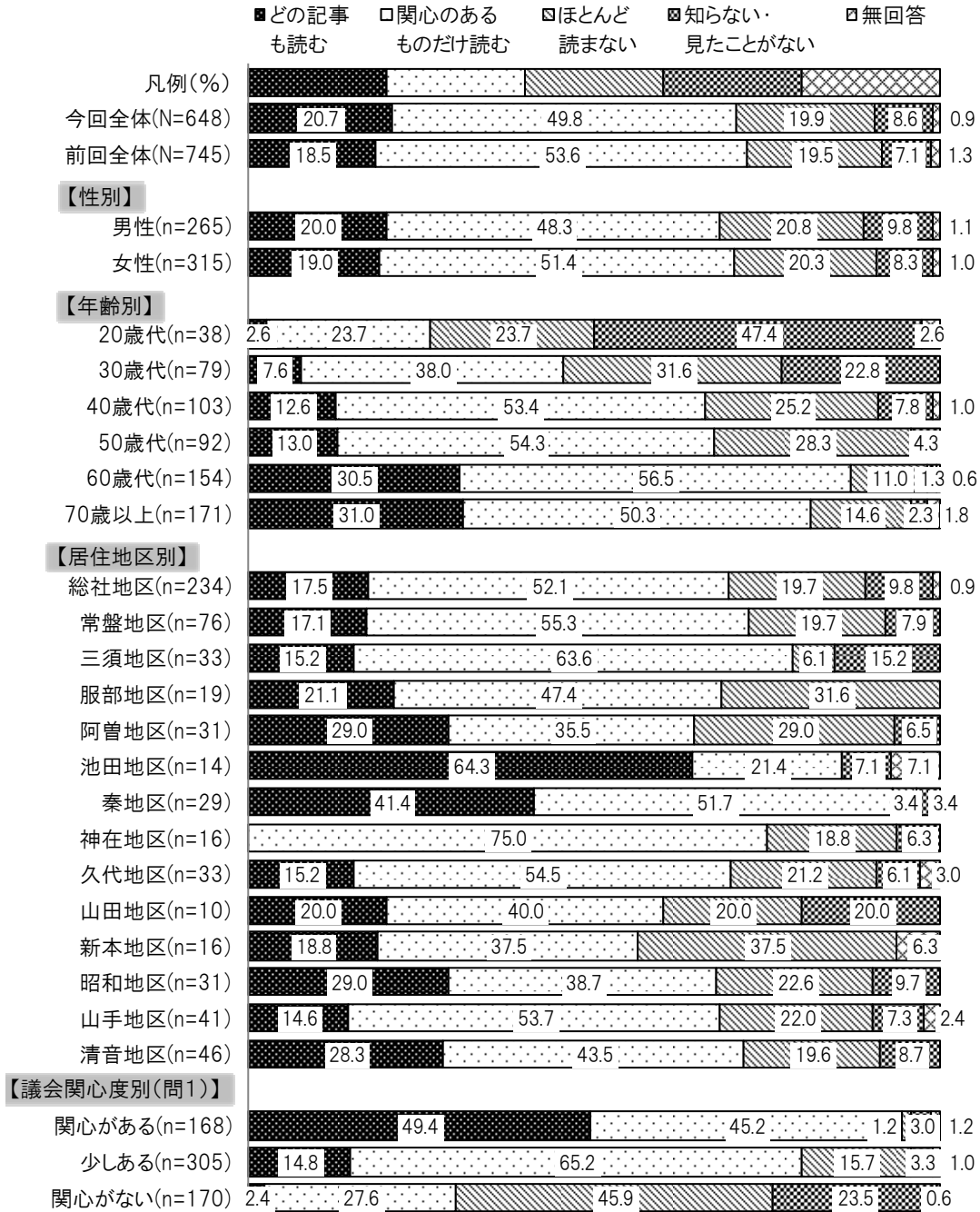
前回調査との比較では大きな変化は目立たない。

性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、年齢が上がるほど「どの記事も読む」の割合も高くなる傾向にあり、特に60歳代以上で高い。一方、若い年齢層ほど「ほとんど読まない」あるいは「知らない・見たことがない」の割合がおおむね高い傾向にある。

居住地区別では、池田地区で「どの記事も読む」割合が突出して高く、秦地区の割合も4割以上と高い。一方、服部地区、阿曾地区、新本地区で「ほとんど読まない」、山田地区で「知らない・見たことがない」の割合が他の地区に比べて高い。

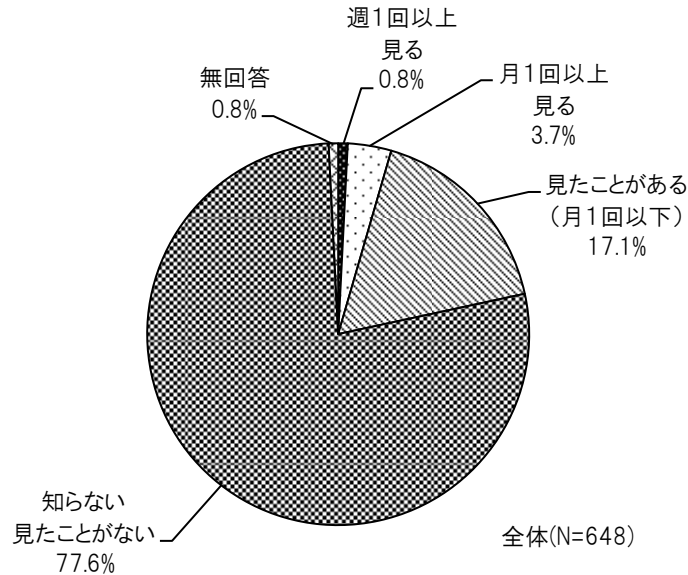
さらに、先にみた議会関心度別（問1）でみると、議会に対して関心がある層では「どの記事も読む」の割合が半数近くを占めているが、関心がない層では「ほとんど読まない」あるいは「知らない・見たことがない」の割合が他の層を大きく上回っており、関心度と相関関係がある。

◆問2. 市議会だよりの閲読状況◆



3. 市議会ホームページの閲覧状況

問3. 「市議会のホームページを見たことがありますか。」



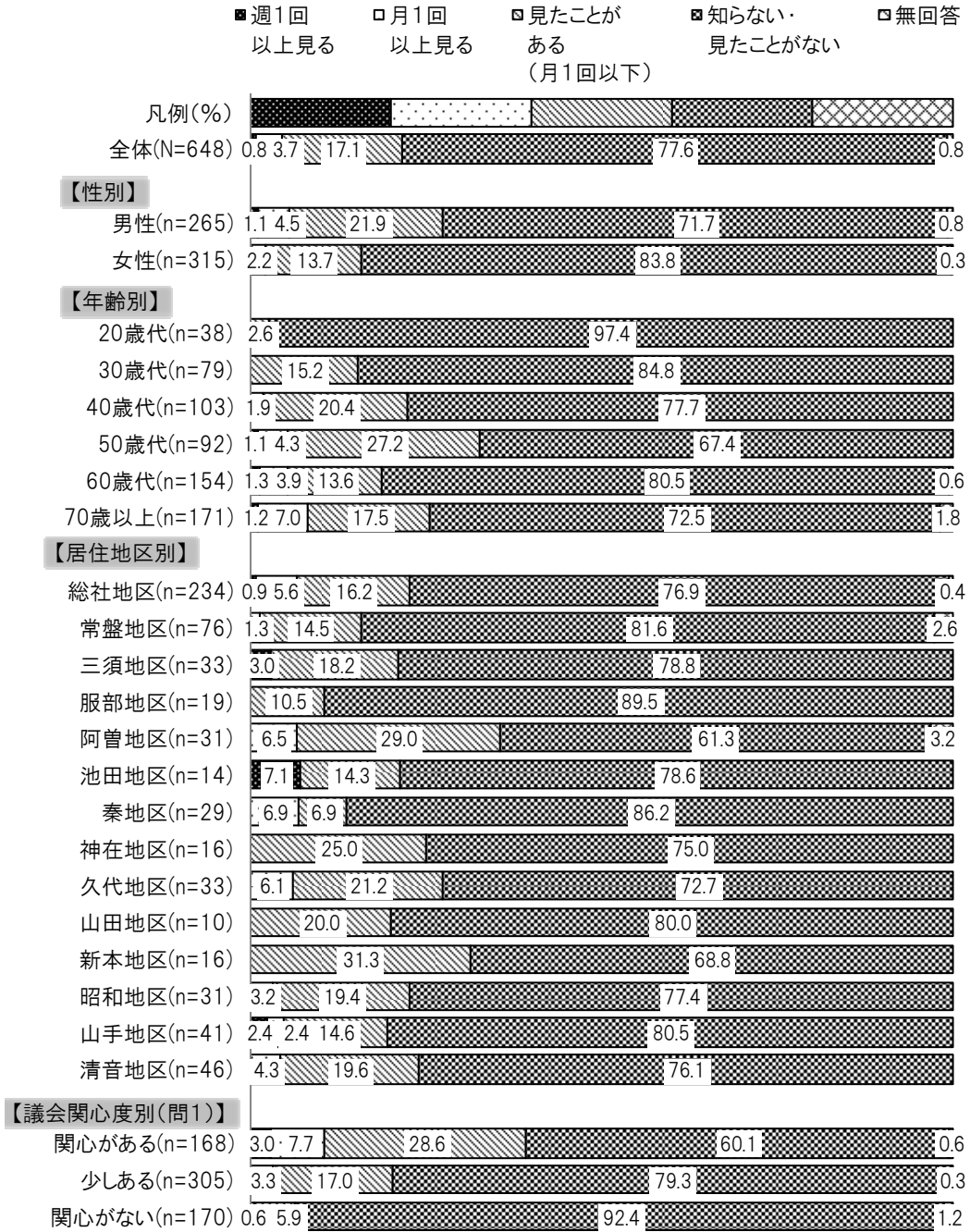
市議会ホームページの閲覧状況については、「知らない・見たことがない」が 77.6%と最も高く、『閲覧率』は全体で約 2 割 (21.6%) となっている。

性別では、男性は女性に比べて『閲覧率』が高い。

年齢別では、50 歳代、居住地区別では、阿曾地区、新本地区などの『閲覧率』がそれぞれ高くなっている。

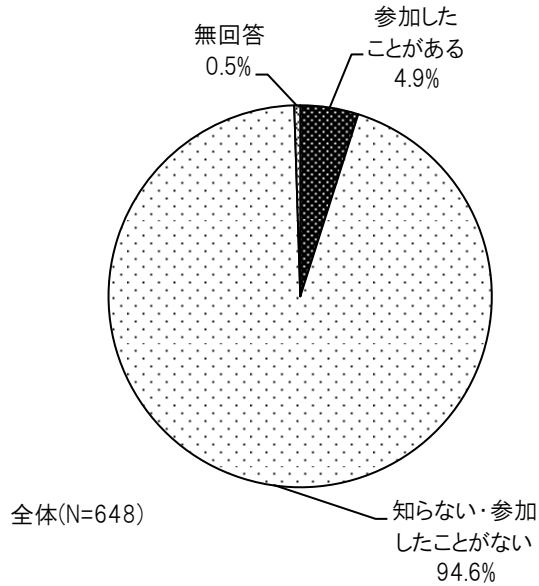
また、議会に関心がある層ほど『閲覧率』が高く、関心がない層では「知らない・見たことがない」割合が 9 割以上と他の層を大きく上回っており、関心度と相関関係がある。

◆問3. 市議会ホームページの閲覧状況◆



4. 「議会報告会」・「議会フォーラム」の参加状況

問4. 「議会報告会」・「議会フォーラム」に参加したことがありますか。



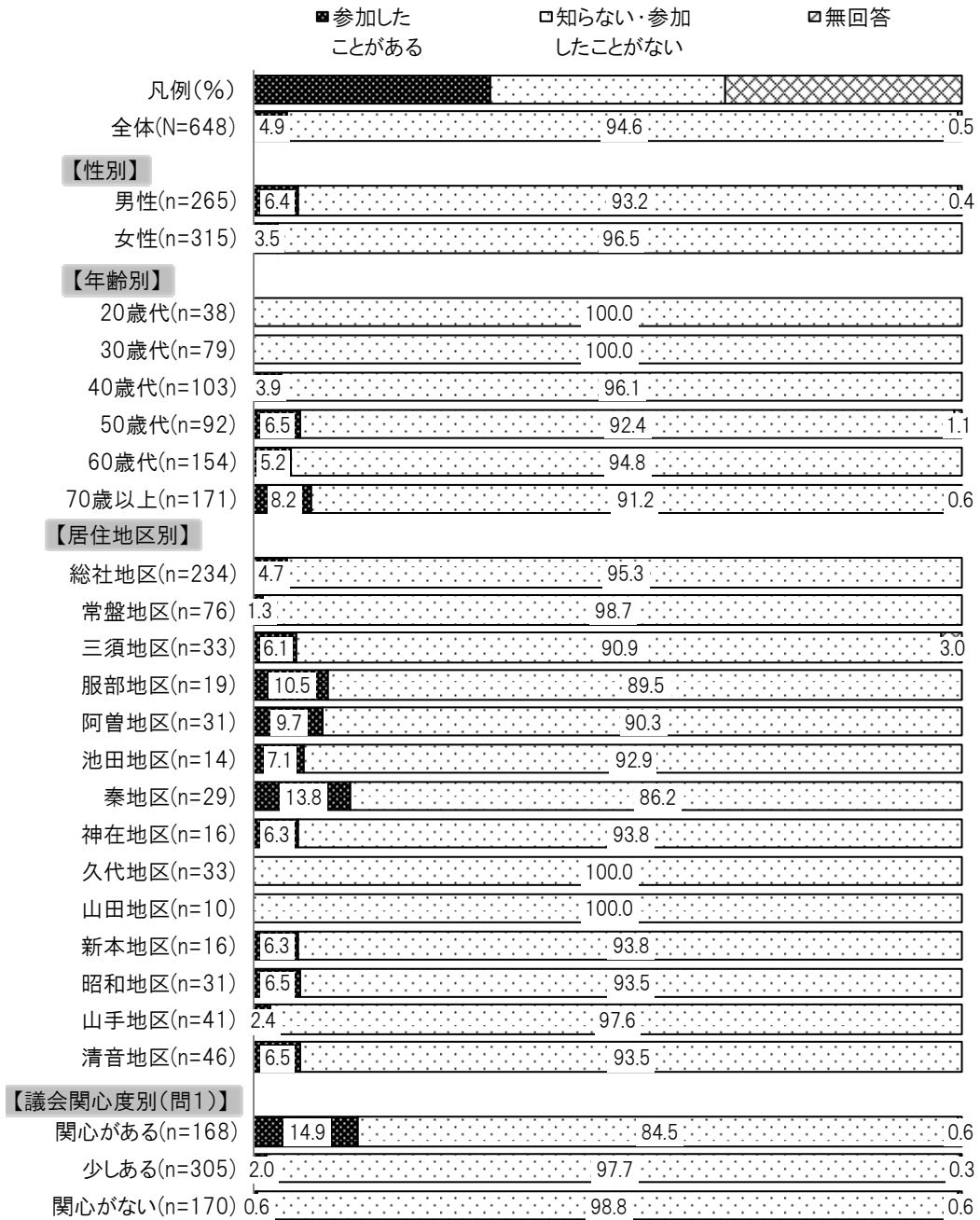
「議会報告会」・「議会フォーラム」の参加状況については、「知らない・参加したことがない」の割合が9割以上（94.6%）を占めている。

性別では、男性は女性に比べて「参加したことがある」割合がやや高いが、大きな差は目立たない。

年齢別では70歳以上、居住地区別では、服部地区、阿曾地区、秦地区で「参加したことがある」割合がそれぞれやや高くなっている。

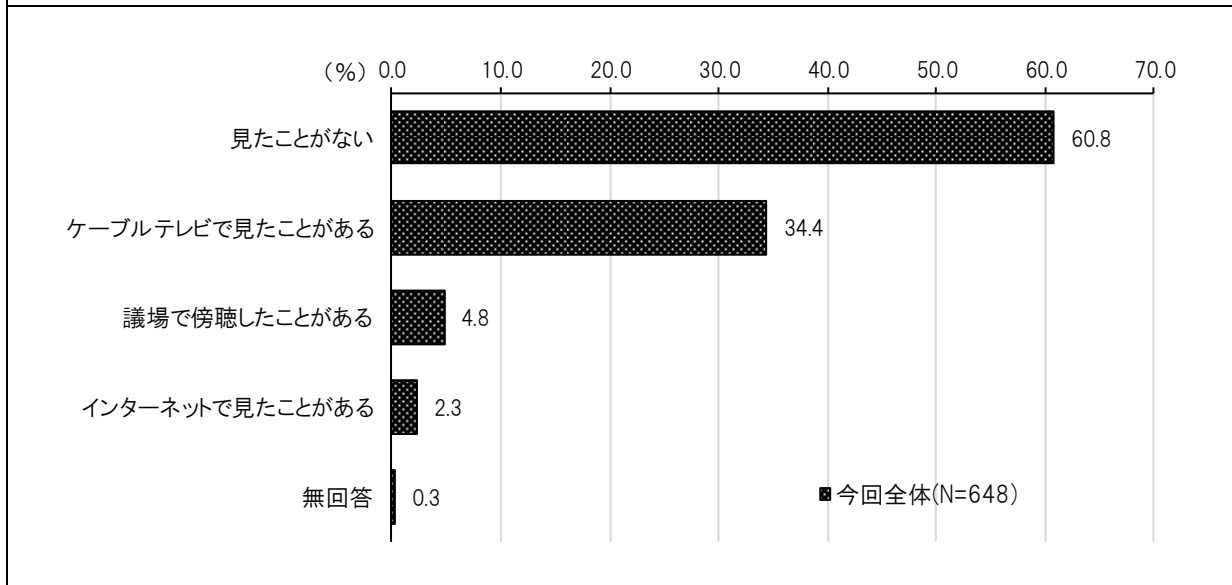
また、議会に関心がある層ほど「参加したことがある」割合が高い。

◆問4. 「議会報告会」・「議会フォーラム」の参加状況◆



5. 本会議の傍聴経験

問5. 市議会の本会議を見たことがありますか。(複数回答可)



本会議の傍聴経験については、「見たことがない」が60.8%とほぼ6割であることから、4割近くが傍聴経験者とみることができる。傍聴経験は「ケーブルテレビで見たことがある」が34.4%と大半を占めており、「議場で傍聴したことがある」は4.8%、「インターネットで見たことがある」は2.3%とそれぞれ割合は低い。

前回調査との比較では大きな変化は目立たない。

性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、特に30歳代以下で「見たことがない」割合が高い。一方、60歳代の傍聴経験が他の年齢層に比べて高く、「ケーブルテレビで見たことがある」割合が半数近くを占めている。

居住地区別では、阿曾地区、池田地区、秦地区、久代地区、新本地区、昭和地区で「ケーブルテレビで見たことがある」割合が高く、また秦地区で「議場で傍聴したことがある」割合が他の地区に比べて高い。一方、山田地区、山手地区、清音地区で「見たことがない」割合が高くなっている。

また、議会に関心がある層ほど「ケーブルテレビで見たことがある」や「議場で傍聴したことがある」割合が高く、関心がない層では「見たことがない」割合が高い。議会への関心度と傍聴経験には相関関係がある。

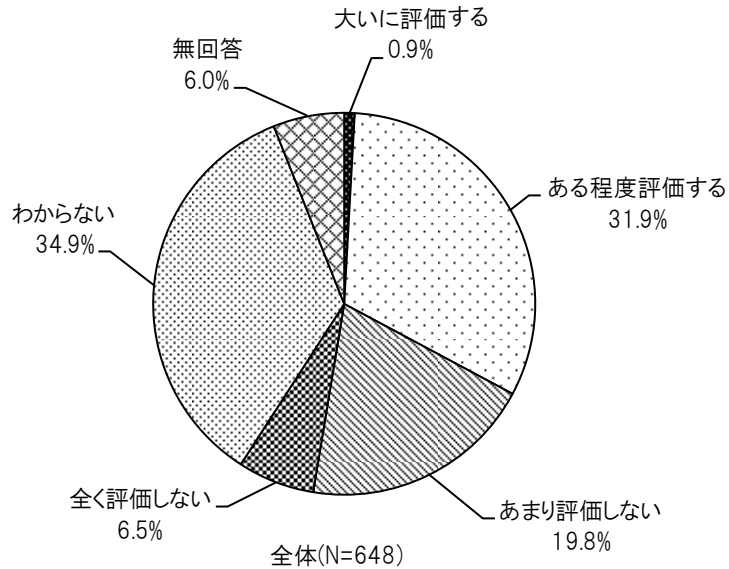
◆問5. 本会議の傍聴経験（複数回答）◆

		見たことがない	ケーブルテレビで見	議場がある傍聴したこと	インターネットで見
今回全体(N=648)		60.8	34.4	4.8	2.3
前回全体(N=745)		58.5	37.2	3.1	2.3
性別	男性(n=265)	59.6	36.2	4.2	3.4
	女性(n=315)	62.9	33.0	4.8	1.6
年齢別	20歳代(n=38)	84.2	15.8	0.0	0.0
	30歳代(n=79)	79.7	17.7	0.0	2.5
	40歳代(n=103)	59.2	35.9	4.9	1.9
	50歳代(n=92)	63.0	32.6	4.3	2.2
	60歳代(n=154)	48.1	48.1	3.9	3.2
	70歳以上(n=171)	57.3	34.5	9.4	2.3
居住地区別	総社地区(n=234)	59.0	36.8	4.3	3.0
	常盤地区(n=76)	61.8	31.6	5.3	2.6
	三須地区(n=33)	66.7	24.2	9.1	3.0
	服部地区(n=19)	68.4	31.6	0.0	0.0
	阿曾地区(n=31)	48.4	45.2	3.2	3.2
	池田地区(n=14)	57.1	42.9	7.1	0.0
	秦地区(n=29)	41.4	44.8	17.2	0.0
	神在地区(n=16)	68.8	31.3	0.0	6.3
	久代地区(n=33)	36.4	63.6	0.0	0.0
	山田地区(n=10)	80.0	20.0	0.0	0.0
	新本地区(n=16)	31.3	68.8	0.0	0.0
	昭和地区(n=31)	41.9	54.8	6.5	3.2
	山手地区(n=41)	90.2	2.4	4.9	2.4
	清音地区(n=46)	82.6	13.0	6.5	2.2
議会 関心度別 (問1)	関心がある(n=168)	41.1	47.0	10.7	6.5
	少しある(n=305)	59.3	37.4	3.9	1.3
	関心がない(n=170)	81.8	17.6	0.6	0.0

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。
 （例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢に網掛け。）
 但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

6. 市議会に対する評価

問6. 現在の市議会をどのように評価しますか。



市議会に対する評価については、「大いに評価する」が 0.9%、「ある程度評価する」が 31.9%で、合計で約 3 割（32.8%）が『評価する』と回答している。一方、「あまり評価しない」（19.8%）、「全く評価しない」（6.5%）を合計した『評価しない』割合は 26.3%となっている。

前回調査との比較では、『評価する』割合が低下した。

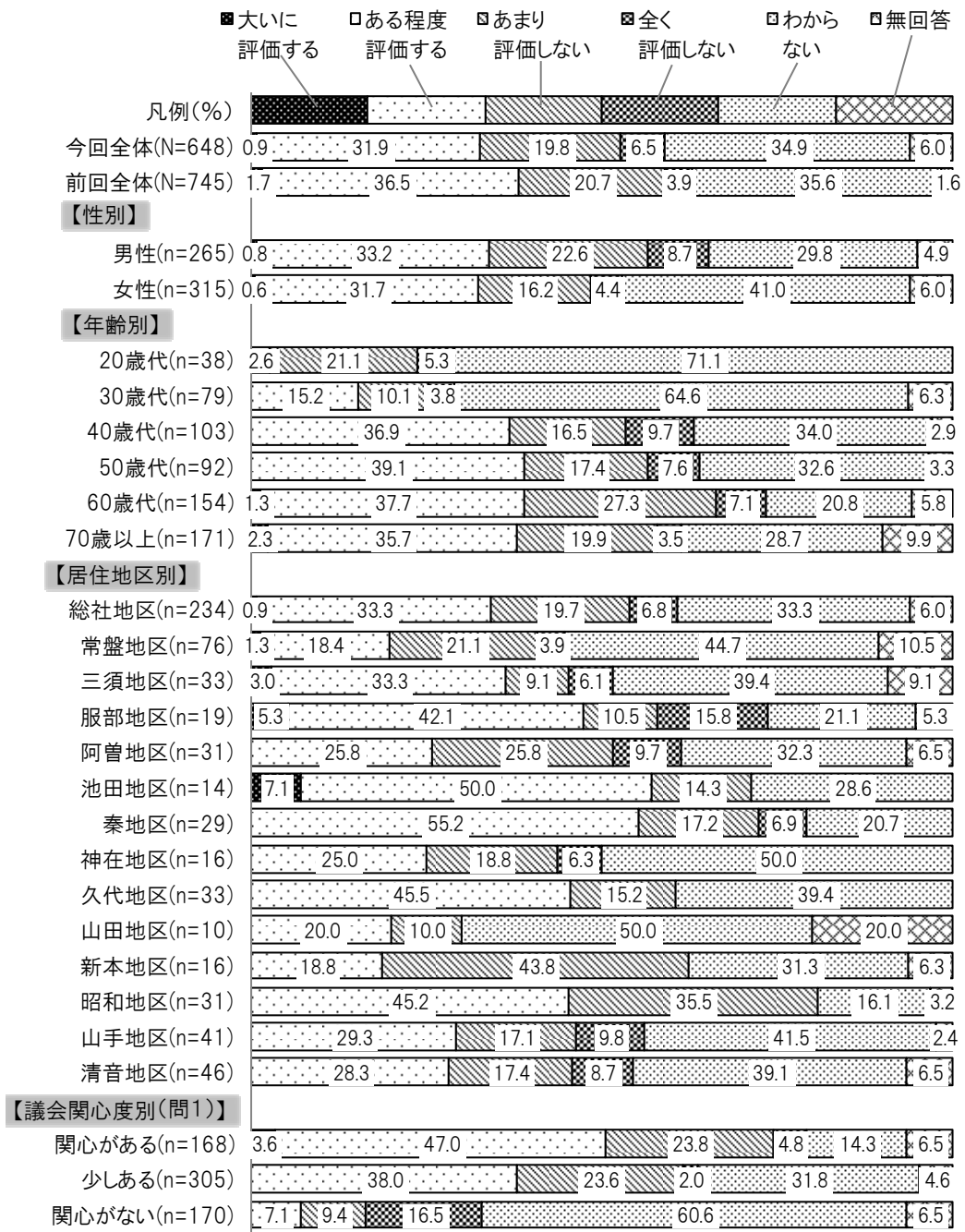
性別では、男性は女性に比べて『評価しない』割合が高く、女性は「わからない」の割合が高い。

年齢別では、30 歳代以下で「わからない」割合が高く、『評価する』割合も低くなっている。また、60 歳代で『評価しない』割合が他の年齢層に比べて高い。

居住地区別では、服部地区、池田地区、秦地区、久代地区などで『評価する』割合が高い一方、阿曾地区、新本地区では『評価しない』割合が高く、昭和地区は『評価する』『評価しない』いずれの割合も高い。

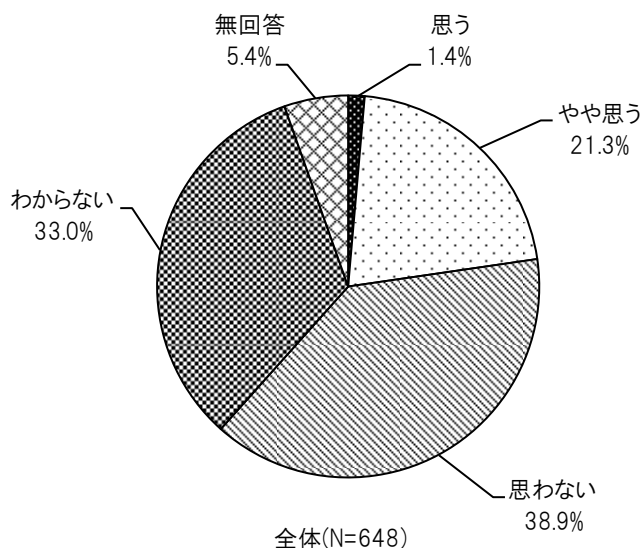
また、議会に関心がある層ほど『評価する』割合も高くなる傾向にあり、議会への関心度と市議会に対する評価には相関関係がある。

◆問6. 市議会に対する評価◆



7. 市民の意見や声の議会への反映

問7. あなたの意見や市民の声が，市議会に反映されていると思いますか。



市民の意見や声の議会への反映については、「思う」が1.4%、「やや思う」が21.3%で、合計で22.7%が『思う（反映されている）』と回答している。一方、「思わない」割合は4割近く（38.9%）を占めており、『思う（反映されている）』を上回っている。また「わからない」への回答が33.0%みられた。

前回調査との比較では大きな変化は目立たない。

性別では、男性は女性に比べて「思わない」割合がやや高く、女性は「わからない」の割合がやや高い。

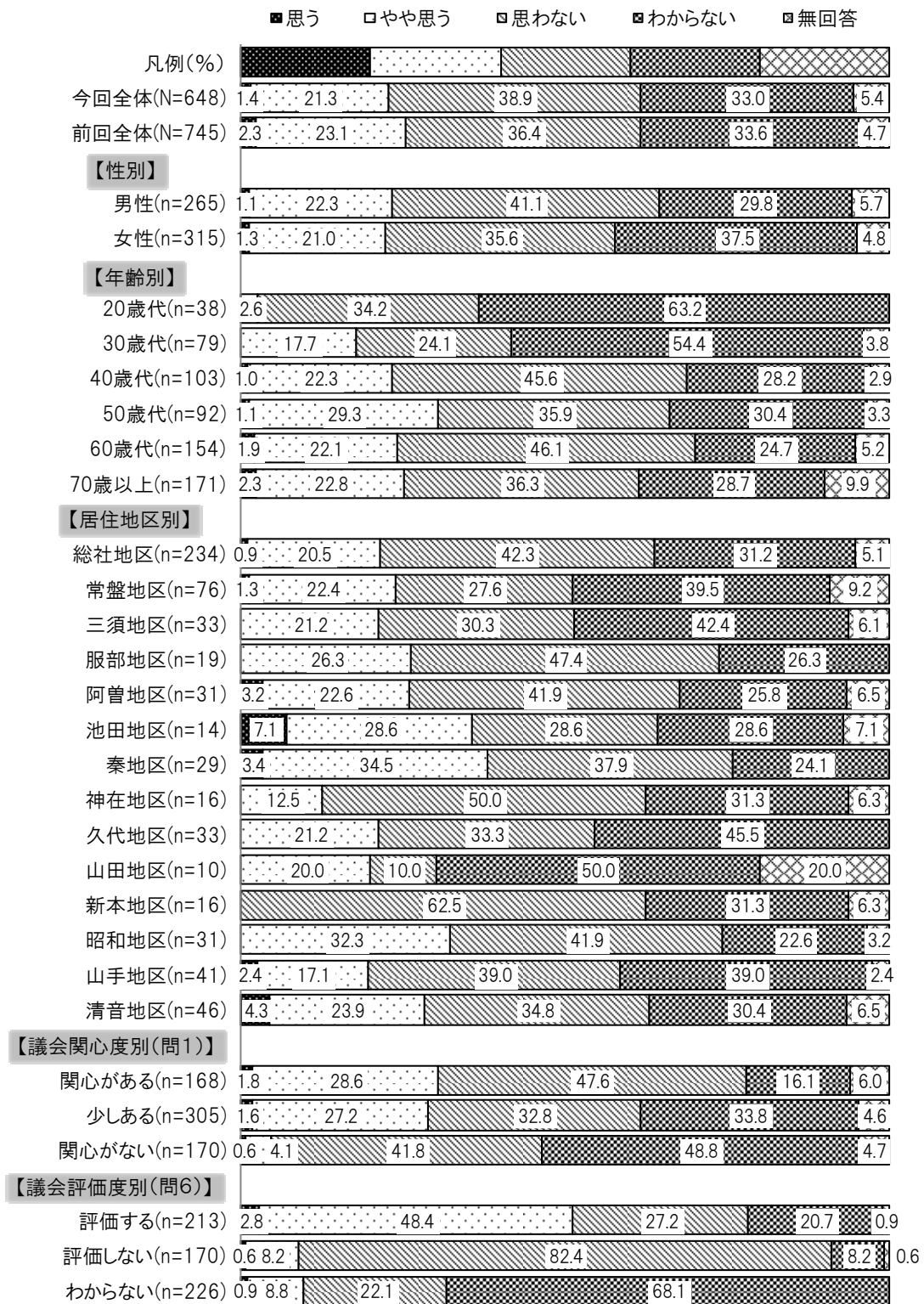
年齢別では、50歳代で『思う（反映されている）』割合が他の年齢層比べて高く、40歳代、60歳代で「思わない（反映されていない）」割合がやや高い。一方で、30歳代以下では「わからない」割合が高く、20歳代で『思う（反映されている）』の回答はほとんどみられない。

居住地区別では、池田地区、秦地区、昭和地区などで『思う（反映されている）』割合が他の地区に比べて高い一方、服部地区、神在地区、新本地区では「思わない（反映されていない）」割合が高くなっている。

また、議会に関心がある層ほど『思う（反映されている）』割合も高い傾向にあるが、関心がない層では「わからない」割合が高くなっている。

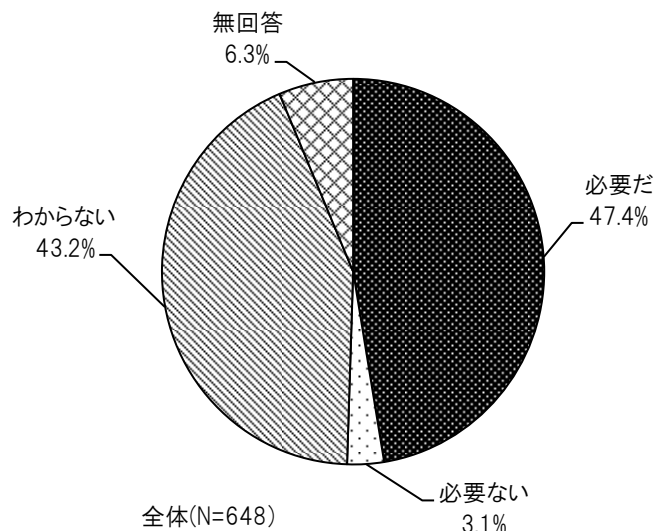
さらに、先にみた議会評価度別（問6）で見ると、議会を評価する層では『思う（反映されている）』割合は過半数となっているが、評価しない層では「思わない（反映されていない）」割合が8割以上を占める。

◆問7. 市民の意見や声の議会への反映◆



8. 市議会改革の必要性

問8. 市議会の改革は必要だと思いますか。



市議会改革の必要性については、「必要だ」が47.4%と最も高く、「必要ない」は3.1%であった。なお「わからない」が4割以上（43.2%）を占めている。

前回調査との比較では、「必要だ」の割合がやや低下した。

性別では、男性は女性に比べて「必要だ」の割合が高く、過半数を占める。女性は「わからない」の割合が高い。

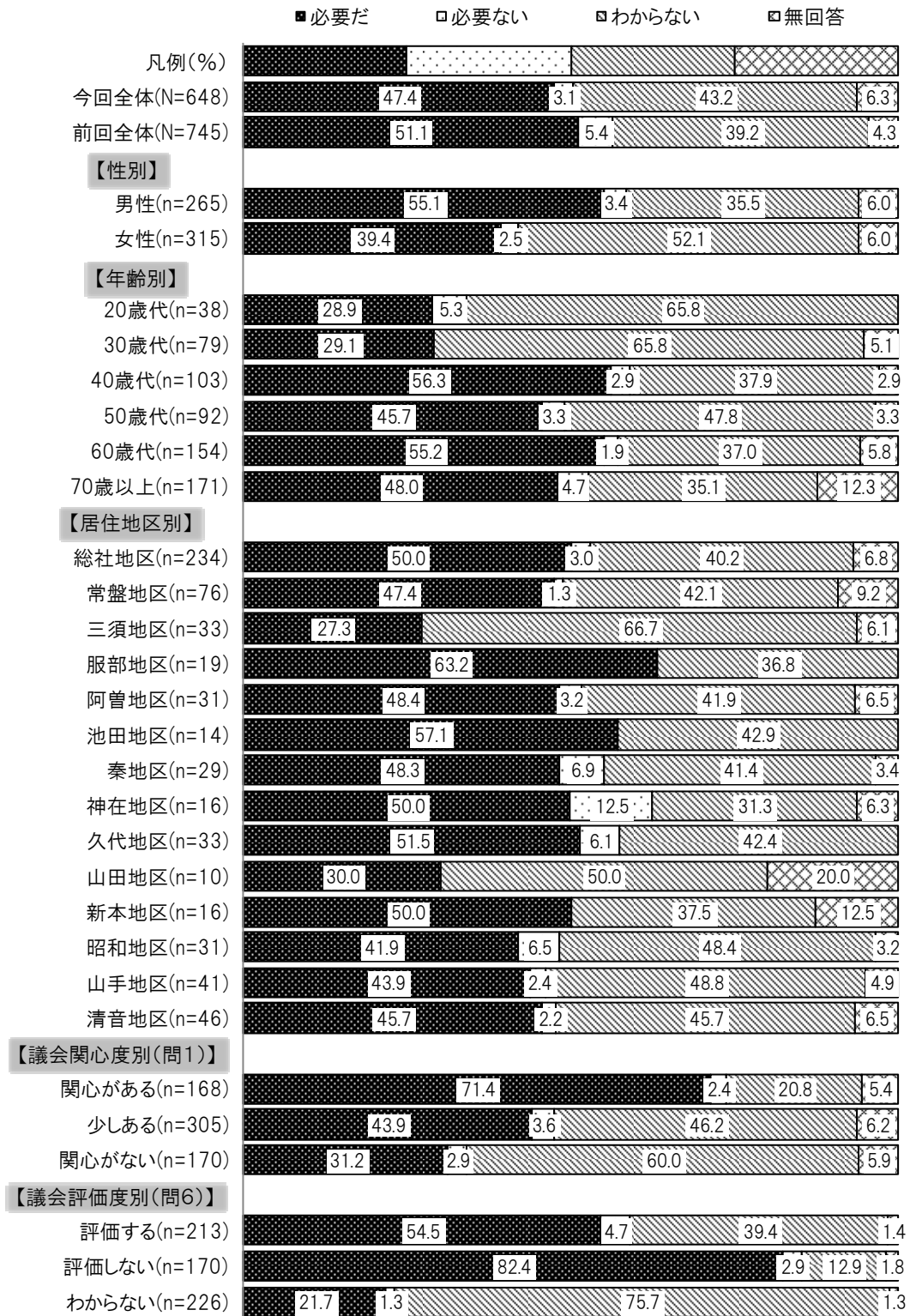
年齢別では、40歳代、60歳代で「必要だ」の割合が過半数を占め、他の年齢層に比べて高い。一方30歳代以下では「わからない」の割合が高い。

居住地区別では、特に服部地区、池田地区で「必要だ」の割合が高くなっている。一方で、神在地区では「必要ない」の割合が他の地区に比べて高い。

また、議会に関心がある層ほど「必要だ」の割合も高くなる傾向にあるが、関心がない層では「わからない」割合が高くなっている。

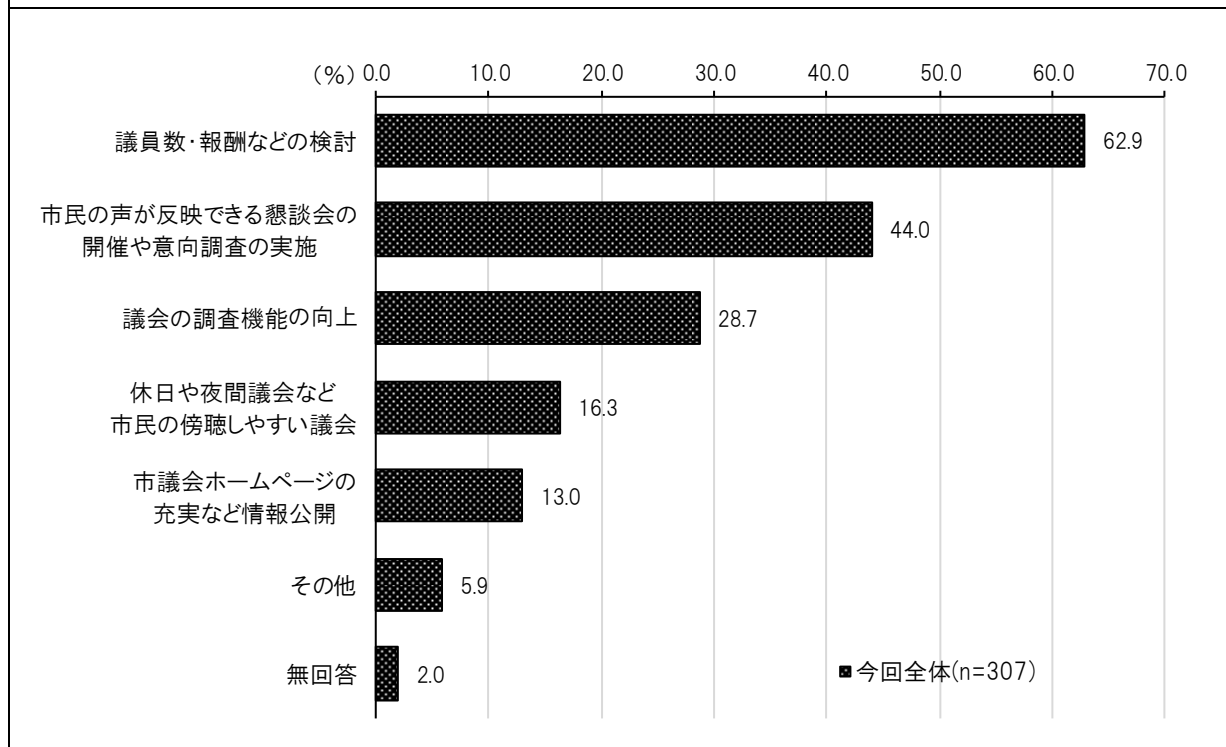
さらに、議会評価度別でみると、議会を評価する層で「必要だ」の割合は過半数を占めており、評価しない層では8割以上が「必要だ」と回答している。

◆問8. 市議会改革の必要性◆



9. 議会の課題について

問9. 問8で「市議会の改革が必要だ」を選ばれた方にお尋ねします。議会が改革に取り組む課題は何だと思えますか。（複数回答可）



議会の課題については、「議員数・報酬などの検討」が 62.9%と最も高く、次いで「市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施」が 44.0%で続いている。以下「議会の調査機能の向上」(28.7%)、「休日や夜間議会など市民の傍聴しやすい議会」(16.3%)の順となっている。

前回調査との比較では、「議会の調査機能の向上」が増加し、「市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施」が低下した。

性別では、男性は女性に比べて「市議会ホームページの充実など情報公開」の割合がやや高いが、大きな差は目立たない。

年齢別では、20歳代で「市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施」「議会の調査機能の向上」「市議会ホームページの充実など情報公開」、60歳代で「議員数・報酬などの検討」、70歳以上で「休日や夜間議会など市民の傍聴しやすい議会」の割合が他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

議会に関心がある層では、「市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施」「議会の調査機能の向上」「市議会ホームページの充実など情報公開」の割合がおおむね高く、議会関心度に関わらず「議員数・報酬などの検討」の割合は共通して高い。

また、議会を評価する層では「議会の調査機能の向上」、評価しない層では「議員数・報酬などの検討」の割合がそれぞれ高くなっている。

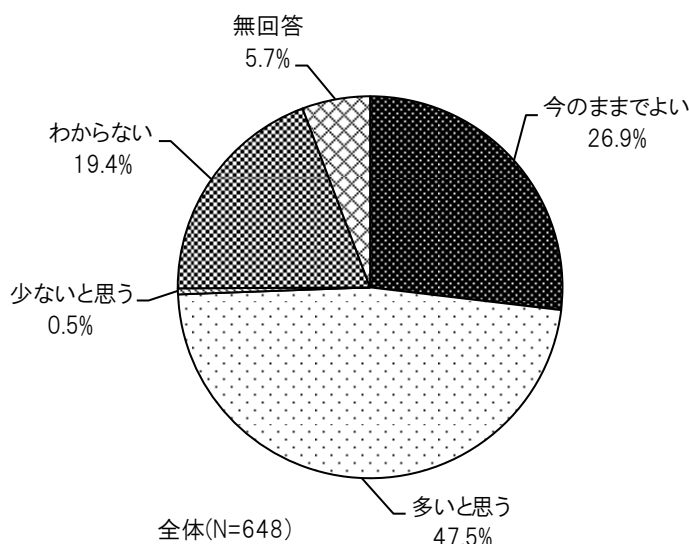
◆問9. 議会の課題について（複数回答）◆

		議員 数・ 報酬 などの 検討	市民の 声の反 映がで き る 実 施 の 開 催 や 意 向 調 査	議 会 の 調 査 機 能 の 向	休 日 や 夜 間 議 会 な ど の 傍 聴 し や す い 議 会	市 議 会 ホ ー ム ペ ー ジ な ど の 情 報 公 開	そ の 他
今回全体(n=307)		62.9	44.0	28.7	16.3	13.0	5.9
前回全体(n=381)		63.5	51.2	23.1	17.3	16.8	2.4
性別	男性(n=146)	63.7	43.8	29.5	17.1	16.4	4.1
	女性(n=124)	63.7	47.6	29.8	16.1	8.9	6.5
年齢別	20歳代(n=11)	54.5	63.6	36.4	18.2	45.5	9.1
	30歳代(n=23)	65.2	39.1	30.4	4.3	0.0	4.3
	40歳代(n=58)	56.9	53.4	27.6	19.0	8.6	10.3
	50歳代(n=42)	59.5	50.0	26.2	4.8	14.3	4.8
	60歳代(n=85)	71.8	38.8	30.6	17.6	14.1	8.2
	70歳以上(n=82)	59.8	40.2	29.3	22.0	13.4	1.2
議会 関心度別 (問1)	関心がある(n=120)	65.0	45.0	34.2	20.0	16.7	6.7
	少しある(n=134)	59.7	46.3	26.9	11.9	10.4	5.2
	関心がない(n=53)	66.0	35.8	20.8	18.9	11.3	5.7
議会 評価度別 (問6)	評価する(n=116)	56.0	39.7	32.8	17.2	12.9	5.2
	評価しない(n=140)	71.4	44.3	28.6	13.6	12.1	7.9
	わからない(n=49)	53.1	53.1	20.4	22.4	16.3	2.0

注：議会評価度別の「評価する」は「大いに評価する」と「ある程度評価する」の合計、「評価しない」は「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計。

10. 議員数について

問 10. 議員定数は 24 人です。議員数についてどう思いますか。
(別紙, 資料 1 「県下 15 市議会の状況」を参照してください。)



議員数については、「多と思う」が 47.5%と最も高く、次いで「今のままでよい」が 26.9%、「少ないと思う」が 0.5%となっている。なお「わからない」が 19.4%みられた。前回調査との比較では大きな変化は目立たない。

性別では、男性は女性に比べて「多と思う」割合がやや高くなっている。

年齢別では、50 歳代と 70 歳以上で「今のままでよい」、60 歳代で「多と思う」の割合が他の年齢層に比べてそれぞれ高く、30 歳代以下では「わからない」の割合が高くなっている。

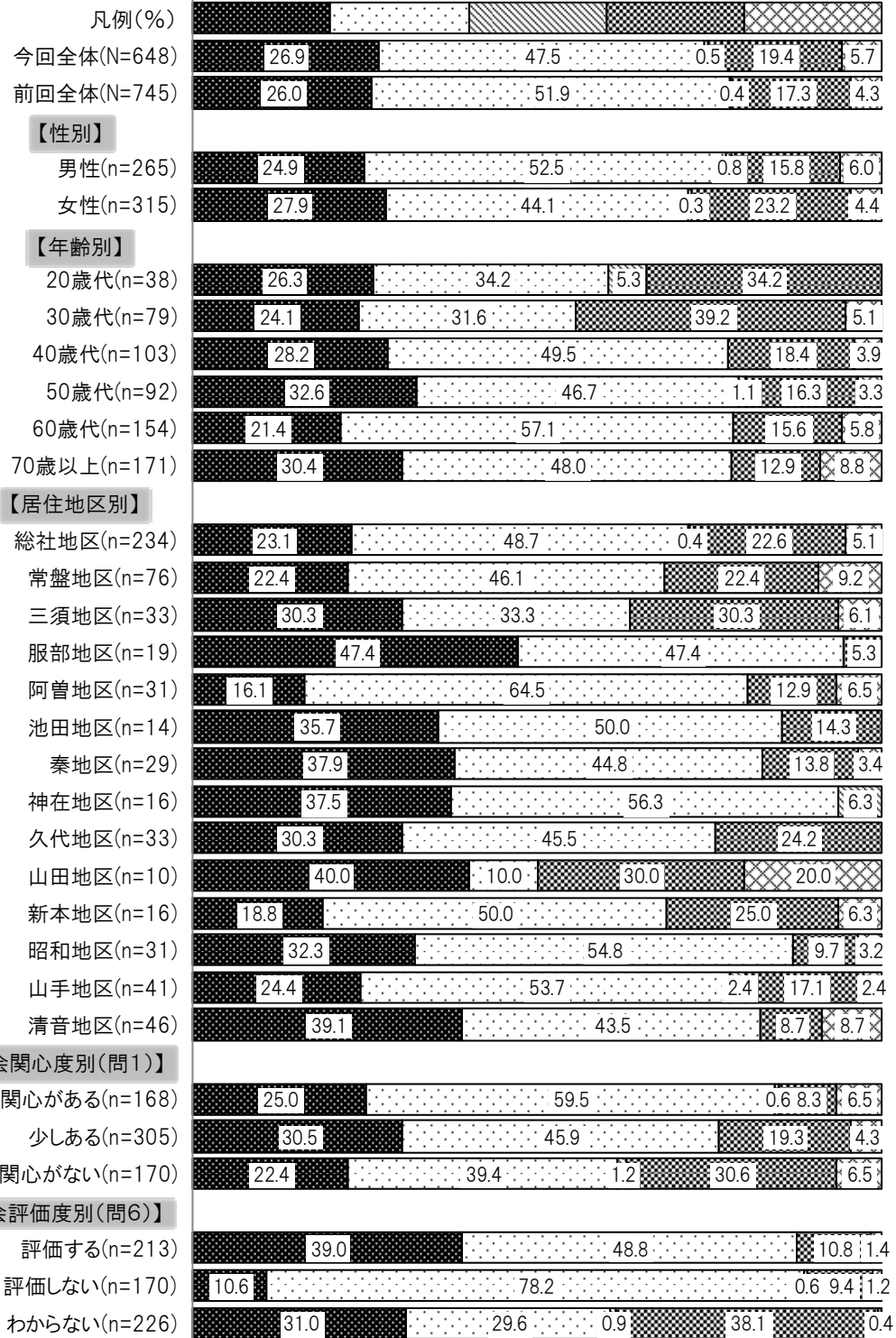
居住地区別でみると、服部地区、池田地区、秦地区、山田地区、清音地区で「今のままでよい」、阿曾地区、昭和地区、山手地区は「多と思う」の割合が、他の地区に比べてそれぞれ高い。また、神在地区は「今までのままでよい」「多と思う」いずれの割合も高い。

議会に関心がある層では、「多と思う」の割合が他の層を大きく上回っており、関心がない層では「わからない」の割合が高い。

また、議会を評価する層では「今のままでよい」の割合が他の層を上回っているが、評価しない層では、「多と思う」の割合が 8 割近くを占めている。

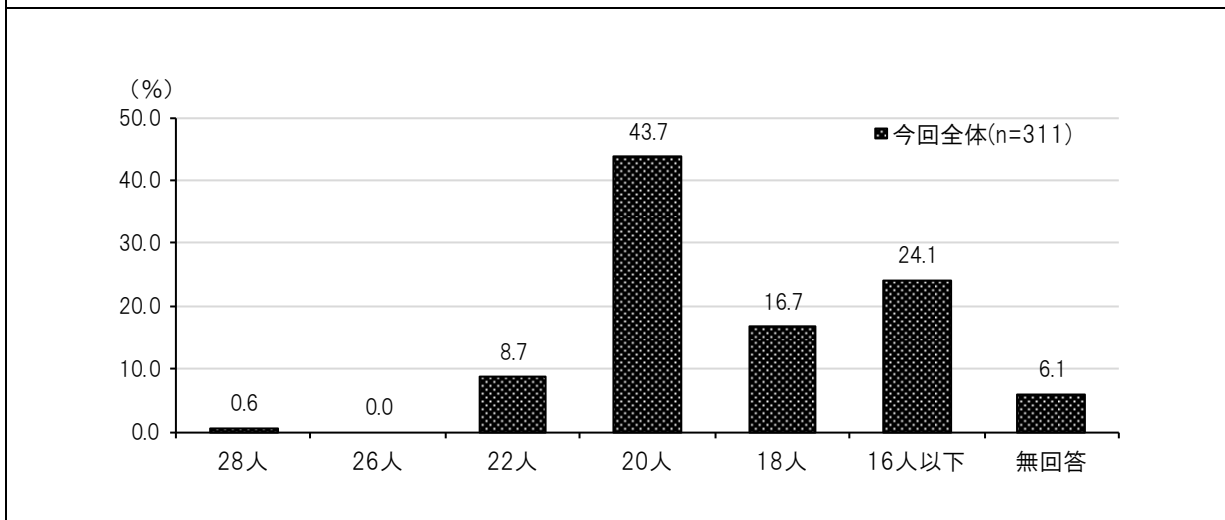
◆問 10. 議員数について◆

■今のままでよい □多いと思う ▨少ないと思う ▩わからない □無回答



11. 適正と思う議員定数

問 11. 問 10 で、議員数が「多いと思う」「少ないと思う」を選ばれた方にお尋ねします。
議員定数は、何人がよいと思いますか。



適正と思う議員定数については、「20 人」が 43.7%と最も高く、次いで「16 人以下」(24.1%)、「18 人」(16.7%)の順となっており、これら『20 人以下 (合計)』で全体の 8 割以上 (84.5%) を占めている。

前回調査との比較では、「20 人」の割合が増加した。

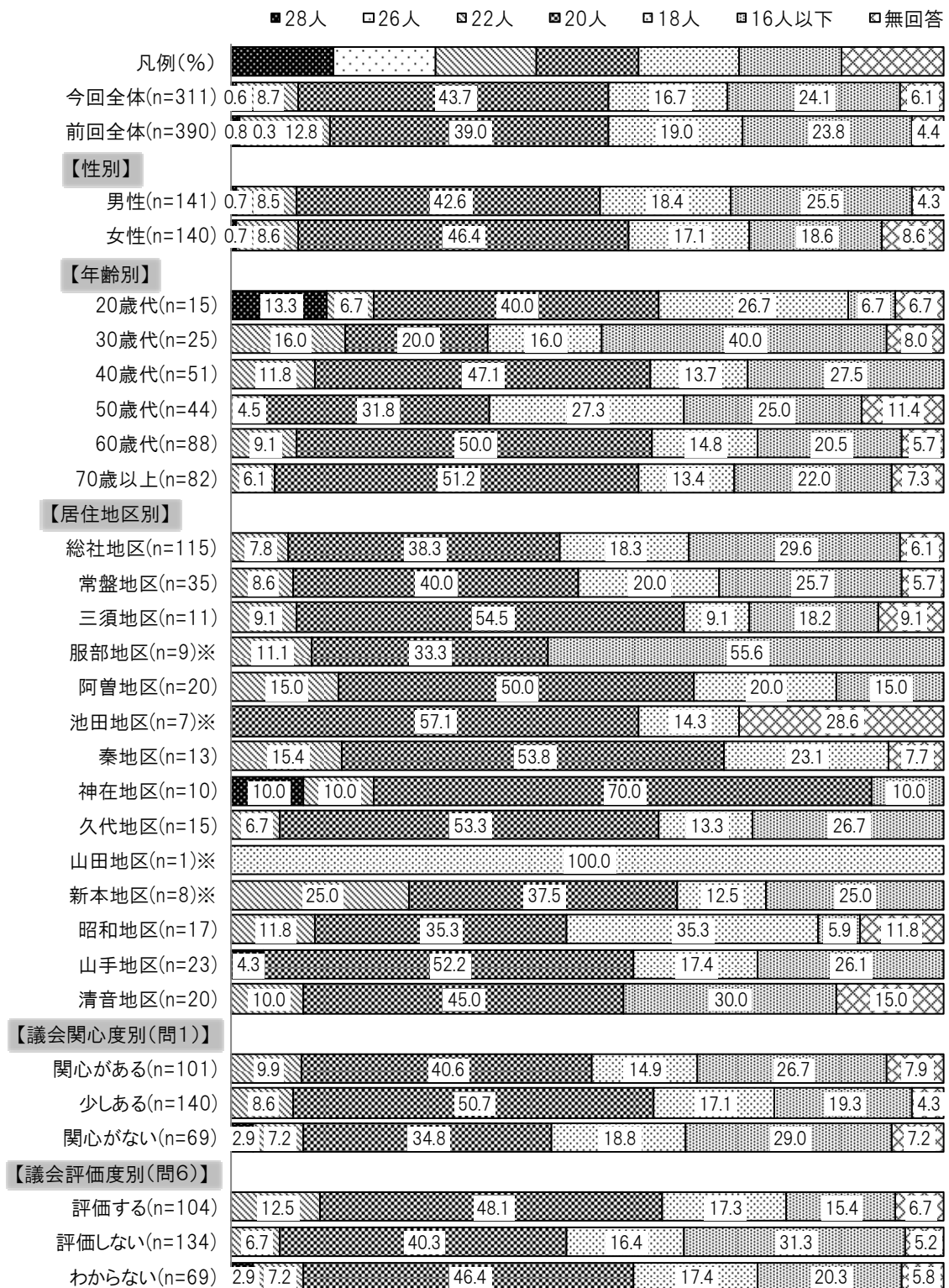
性別では、男性は女性に比べて「16 人以下」の割合が高い。

年齢別では、20 歳代で「28 人」、30 歳代で「16 人以下」、40 歳代、60 歳代、70 歳以上で「20 人」、50 歳代で「18 人」の割合がそれぞれ高く、年齢層によるバラつきがみられる。

居住地区別でみると、三須地区、秦地区、神在地区、久代地区では「20 人」、昭和地区では「18 人」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

議会に関心が「少しある」層で「20 人」、議会を評価しない層で「16 人以下」の割合が、他の層を大きく上回っているのが目立っている。

◆問 11. 適正と思う議員定数◆

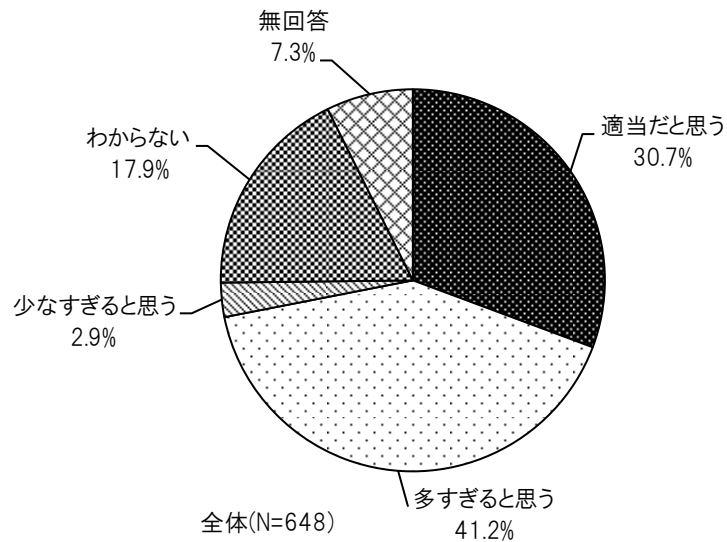


注1:当該設問の回答者は、前設問(問10)で「多いと思う」または「少ないと思う」の回答者のみであるが、「多いと思う」への回答者数が308人、「少ないと思う」への回答者数が3人であることから、「多いと思う場合」「少ないと思う場合」などの区分をせずに311人を基数として集計(n=311)している。

注2:上記クロス集計のうち、※印は該当件数(n)が少ないため参考値として参照されたい。

12. 議員報酬について

問 12. 市議会議員に、毎月 40 万円の報酬が支給されています。報酬について、どう思いますか。（別紙、資料 1「県下 15 市議会の状況」を参照してください。）



議員報酬については、「多すぎると思う」が 41.2%と最も高く、次いで「適当だと思う」が 30.7%で続いている。「少なすぎると思う」は 2.9%、「わからない」が 17.9%みられた。

前回調査との比較では、「適当だと思う」割合が増加し、「多すぎると思う」割合が低下した。

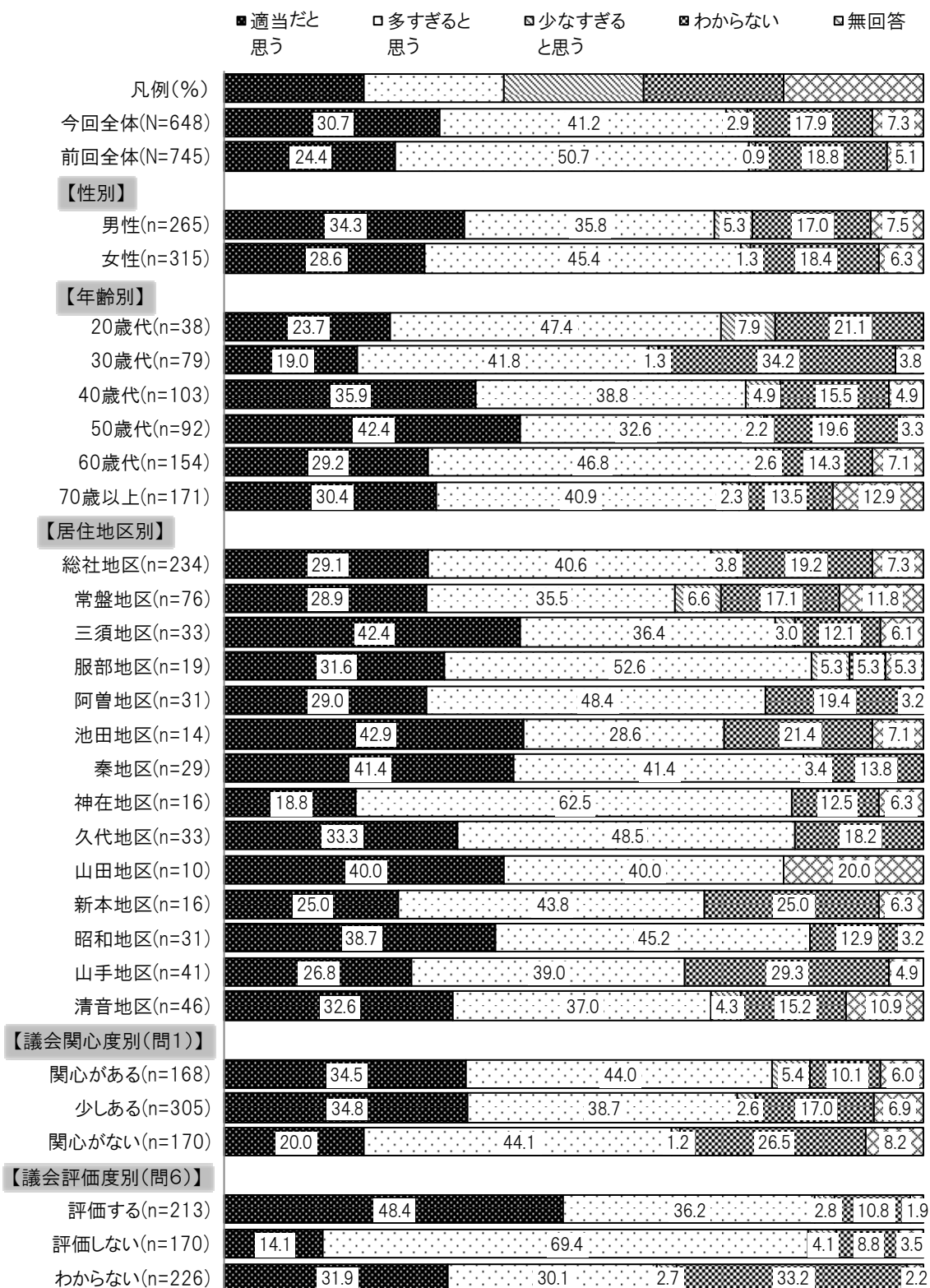
性別では、男性は女性に比べて「適当だと思う」割合がやや高く、女性は「多すぎると思う」割合が高い。

年齢別では、20 歳代と 60 歳代で「多すぎると思う」割合が高く、50 歳代で「適当だと思う」割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

居住地区別では、三須地区、池田地区、秦地区、山田地区、昭和地区などで「適当だと思う」、服部地区、阿曾地区、神在地区、久代地区などで「多すぎると思う」割合が、それぞれ他の地区を上回って高くなっている。

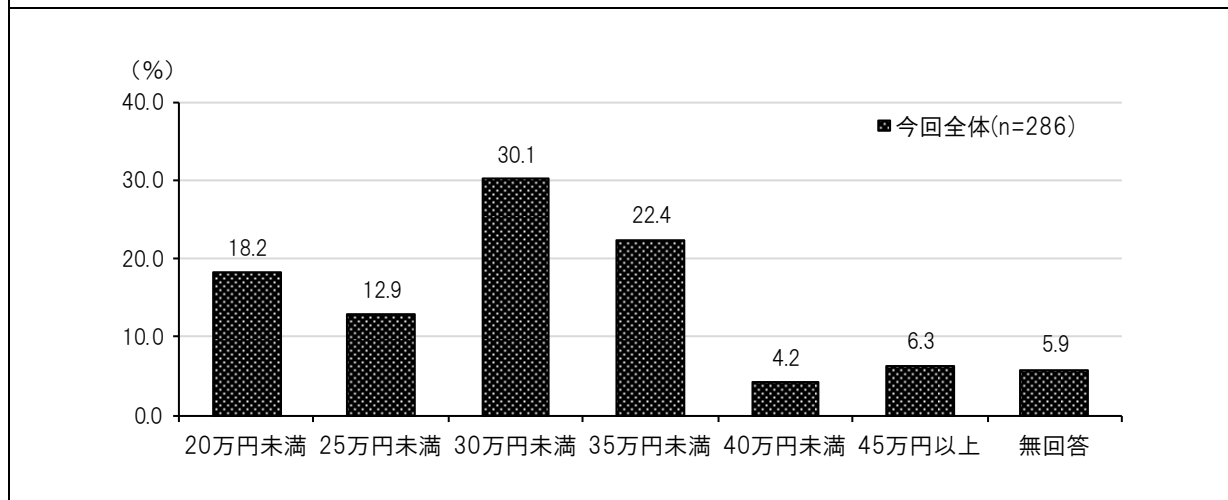
議会に関心がない層で「わからない」割合が高く、また、議会を評価する層ほど「適当だと思う」、評価しない層ほど「多すぎると思う」割合がそれぞれ他の層を上回って高くなっている点で差がみられる。

◆問 12. 議員報酬について◆



13. 適正と思う議員報酬

問 13. 問 12 で、報酬は「多すぎると思う」「少なすぎると思う」を選ばれた方にお尋ねします。あなたが思う議員報酬額とその理由をお書きください。



適正と思う議員報酬については、「30 万円未満」が 30.1%と最も高く、次いで「35 万円未満」(22.4%)、「20 万円未満」(18.2%)、「25 万円未満」(12.9%) の順となっており、これら『35 万円未満 (合計)』で、全体の 8 割以上 (83.6%) を占めている。

前回調査との比較では、「30 万円未満」の割合が低下した。

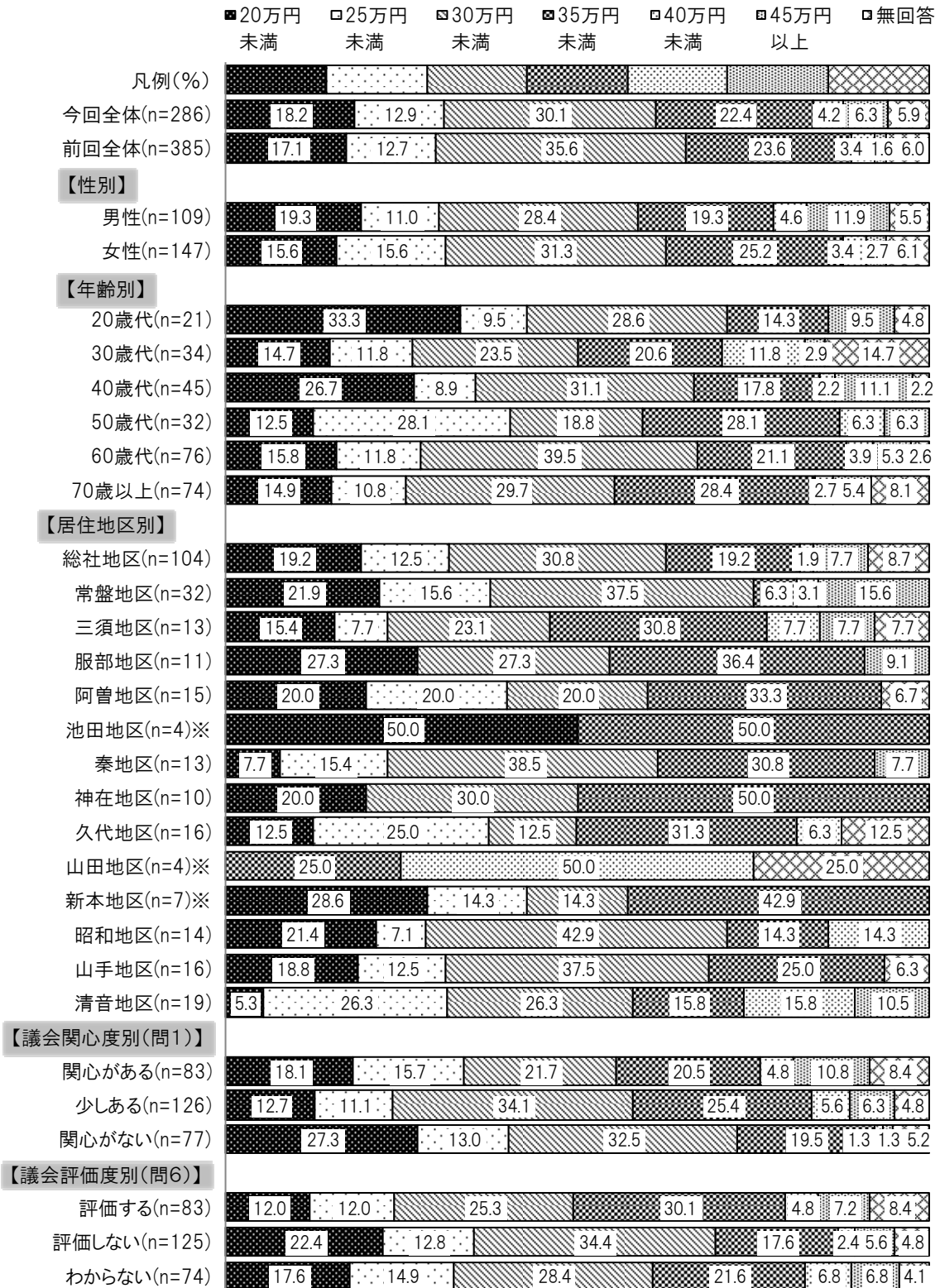
性別では、男性は女性に比べて「45 万円以上」の割合が高く、女性は「35 万円未満」の割合が高くなっている。

年齢別では、20 歳代と 40 歳代で「20 万円未満」、50 歳代で「25 万円未満」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

居住地区別では、常盤地区で「45 万円以上」、服部地区、阿曾地区、神在地区で「35 万円未満」、久代地区で「25 万円未満」、昭和地区で「30 万円未満」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高く、清音地区は「25 万円未満」「40 万円未満」いずれの割合も共通して高くなっている。

また、議会に関心がない層や議会を評価しない層ほど、議員報酬額は相対的に低い額を回答している。

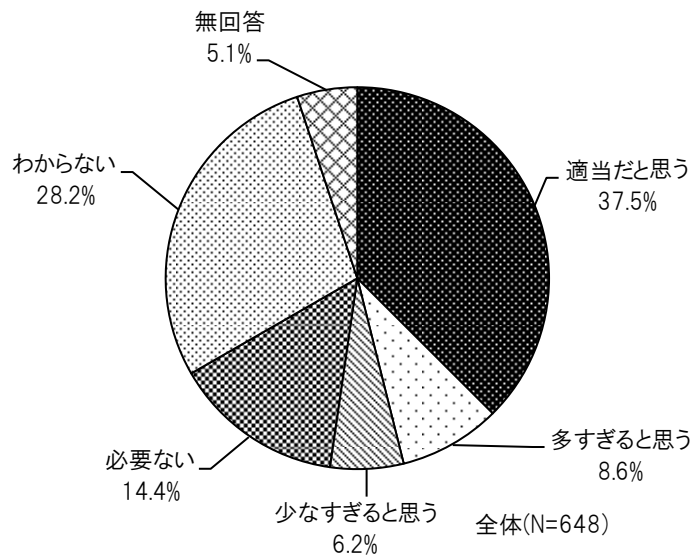
◆問 13. 適正と思う議員報酬◆



注:上記クロス集計のうち, ※印は該当件数(n=)が少ないため参考値として参照されたい。

14. 政務活動費について

問 14. 議員の調査研究のために必要な費用を支給する「政務活動費制度」があります。現在、総社市では月額2万5千円が支給されています。政務活動費についてどう思いますか。（別紙、資料1「県下15市議会の状況」およびその裏面の資料2「政務活動費とは」を参照してください。）



政務活動費については、「適切だと思う」が37.5%と最も高く、次いで「必要ない」(14.4%)、「多すぎると思う」(8.6%)、「少なすぎると思う」(6.2%)の順となっている。なお「わからない」への回答が28.2%を占める。

前回調査との比較では、「適切だと思う」割合が増加した。

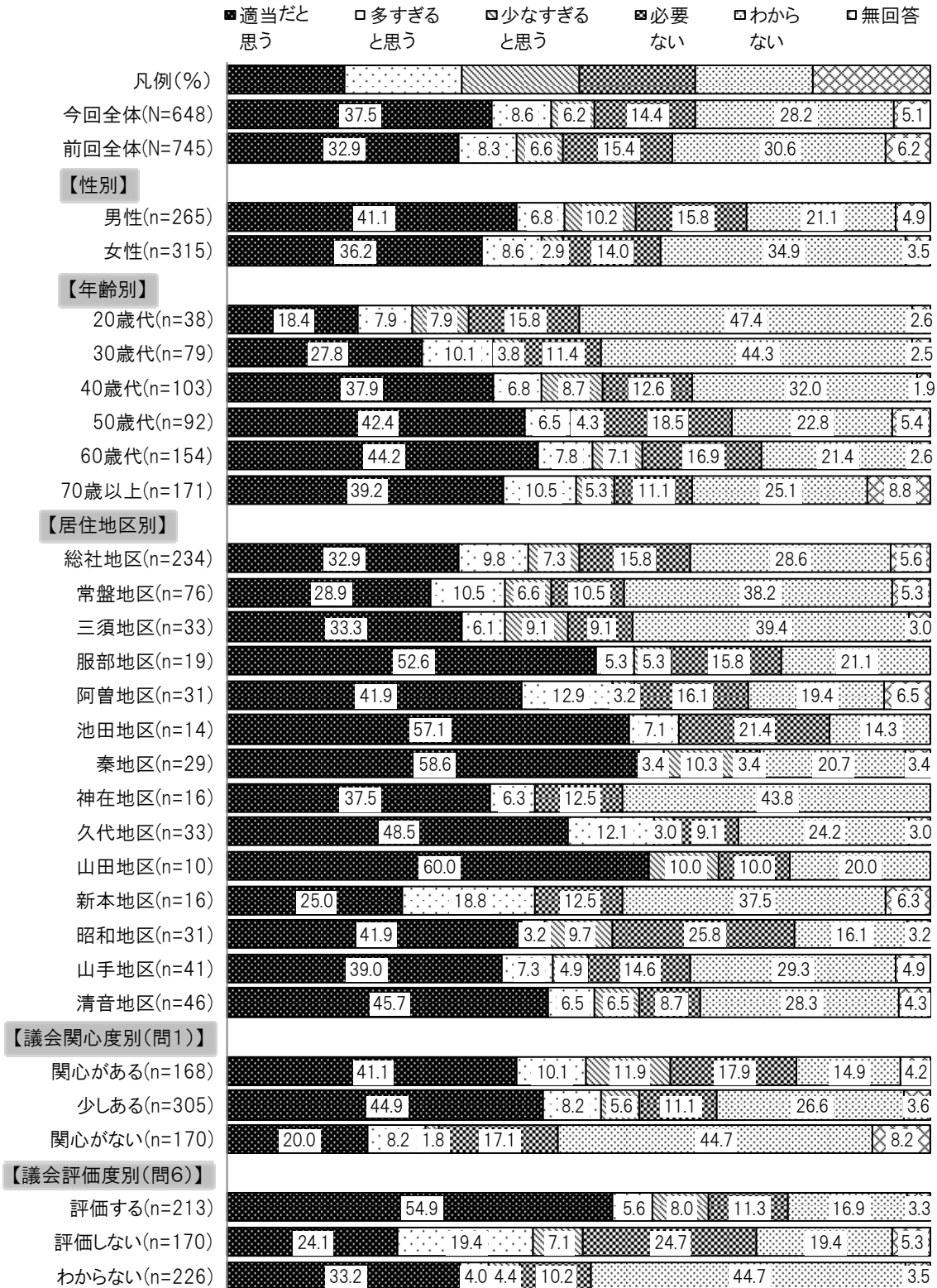
性別では、男性は女性に比べて「適切だと思う」割合がやや高く、女性で「わからない」の割合が高い。

年齢別では、年齢が上がるほど「適切だと思う」割合がおおむね高くなる傾向にあり、若い年齢層ほど「わからない」への回答が高くなる傾向にある。

居住地区別では、服部地区、池田地区、秦地区、久代地区、山田地区、清音地区などで「適切だと思う」の割合が高く、新本地区などで「多すぎると思う」、昭和地区などで「必要ない」の回答がそれぞれ他の地区を上回って高くなっている。

また、議会に関心がある層や議会を評価する層ほど「適切だと思う」の割合が高くなっている。

◆問 14. 政務活動費について◆



IV 平成24年7月実施アンケート調査結果との比較

総社市議会に関するアンケート調査／単純集計結果	今回(H27.7) 回答割合(%)	前回(H24.7) 回答割合(%)	ポイント差 (今回-前回)
アンケートの回収数			
	648	745	-97
問1. 市議会への関心			
ある	25.9	27.2	-1.3
少しある	47.1	46.6	0.5
ない	26.2	25.5	0.7
無回答	0.8	0.7	0.1
問2. 「市議会だより」の閲覧状況			
どの記事も読む	20.7	18.5	2.2
関心のあるものだけ読む	49.8	53.6	-3.8
ほとんど読まない	19.9	19.5	0.4
知らない・見たことがない	8.6	7.1	1.5
無回答	0.9	1.3	-0.4
問3. 「市議会のホームページ」の閲覧状況			
週1回以上見る	0.8	前回調査なし	
月1回以上見る	3.7		
見たことがある(月1回以下)	17.1		
知らない・見たことがない	77.6		
無回答	0.8		
問4. 「議会報告会」「議会フォーラム」の参加状況			
参加したことがある	4.9	前回調査なし	
知らない・参加したことがない	94.6		
無回答	0.5		
問5. 市議会本会議の傍聴経験(複数回答可)			
議場で傍聴したことがある	4.8	3.1	1.7
ケーブルテレビで見たことがある	34.4	37.2	-2.8
インターネットで見たことがある	2.3	2.3	0.0
見たことがない	60.8	58.5	2.3
無回答	0.3	1.2	-0.9
問6. 現市議会の評価			
大いに評価する	0.9	1.7	-0.8
ある程度評価する	31.9	36.5	-4.6
あまり評価しない	19.8	20.7	-0.9
全く評価しない	6.5	3.9	2.6
わからない	34.9	35.6	-0.7
無回答	6.0	1.6	4.4
問7. 市民の声の市議会への反映について			
思う	1.4	2.3	-0.9
やや思う	21.3	23.1	-1.8
思わない	38.9	36.4	2.5
わからない	33.0	33.6	-0.6
無回答	5.4	4.7	0.7
問8. 市議会の改革の必要性			
必要だ	47.4	51.1	-3.7
必要ない	3.1	5.4	-2.3
わからない	43.2	39.2	4.0
無回答	6.3	4.3	2.0

総社市議会に関するアンケート調査／単純集計結果	今回(H27.7) 回答割合(%)	前回(H24.7) 回答割合(%)	ポイント差 (今回－前回)
問9. 議会が改革に取り組むべき課題(問8で「必要だ」と回答した者のみ回答。複数回答可)			
議会の調査機能の向上	28.7	23.1	5.6
休日や夜間議会など市民の傍聴しやすい議会	16.3	17.3	-1.0
市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施	44.0	51.2	-7.2
市議会ホームページの充実など情報公開	13.0	16.8	-3.8
議員数・報酬などの検討	62.9	63.5	-0.6
その他	5.9	2.4	3.5
無回答	2.0	1.0	1.0
問10. 議員定数24人について			
今のままでよい	26.9	26.0	0.9
多いと思う	47.5	51.9	-4.4
少ないと思う	0.5	0.4	0.1
わからない	19.4	17.3	2.1
無回答	5.7	4.3	1.4
問11. 適切と思う議員定数(問10で「多いと思う」「少ないと思う」と回答した者のみ回答)			
28人	0.6	0.8	-0.2
26人	0.0	0.3	-0.3
22人	8.7	12.8	-4.1
20人	43.7	39.0	4.7
18人	16.7	19.0	-2.3
16人以下	24.1	23.8	0.3
無回答	6.1	4.4	1.7
問12. 毎月40万円の報酬について			
適当だと思う	30.7	24.4	6.3
多すぎると思う	41.2	50.8	-9.6
少なすぎると思う	2.9	0.9	2.0
わからない	17.9	18.8	-0.9
無回答	7.3	5.1	2.2
問13. 適正と思う議員報酬額(問12で「多すぎると思う」「少なすぎると思う」と回答した者のみ回答)			
20万円未満	18.2	17.1	1.1
25万円未満	12.9	12.7	0.2
30万円未満	30.1	35.6	-5.5
35万円未満	22.4	23.6	-1.2
40万円未満	4.2	3.4	0.8
45万円以上	6.3	1.6	4.7
無回答	5.9	6.0	-0.1
問14. 月額2万5千円の政務活動費について			
適当だと思う	37.5	32.9	4.6
多すぎると思う	8.6	8.3	0.3
少なすぎると思う	6.2	6.6	-0.4
必要ない	14.4	15.4	-1.0
わからない	28.2	30.6	-2.4
無回答	5.1	6.2	-1.1

総社市議会に関するアンケート調査／単純集計結果		今回(H27.7) 回答割合(%)	前回(H24.7) 回答割合(%)	ポイント差 (今回－前回)	
F1-1. 性別					
男性		40.9		41.9	-1.0
女性		48.6		50.2	-1.6
無回答		10.5		7.9	2.6
F1-2. 年齢					
20歳代		5.9		20.9	-2.8
30歳代		12.2		30.6	-0.5
40歳代		15.9		44.3	-3.4
50歳代		14.2		0.7	8.5
60歳代		23.8		1.2	-1.8
70歳代		17.1		3.5	-1.8
80歳代		8.0			
90歳以上		1.2			
無回答		1.7			
F2. 居住地区					
総社地区		36.1		36.8	-0.7
常盤地区		11.7		10.7	1.0
三須地区		5.1		3.8	1.3
服部地区		2.9		3.0	-0.1
阿曾地区		4.8		4.2	0.6
池田地区		2.2		2.4	-0.2
秦地区		4.5		2.0	2.5
神在地区		2.5		3.6	-1.1
久代地区		5.1		6.2	-1.1
山田地区		1.5		1.2	0.3
新本地区		2.5		1.6	0.9
昭和地区		4.8		5.6	-0.8
山手地区		6.3		5.5	0.8
清音地区		7.1		9.4	-2.3
無回答		2.9		4.0	-1.1

資料 1 調査票

総社市議会に関するアンケート

次のことについて、該当するものに○印をひとつだけ、また、〔 〕内には、選んだ理由等を記入してください。

「複数回答可」と表示がある項目は、いくつ○印をつけてもかまいません。

問1

ア. ある イ. 少しある ウ. ない

〔理由〕

問2

ア. どの記事も読む イ. 関心のあるものだけ読む
ウ. ほとんど読まない エ. 知らない・見たことがない

〔理由〕

問3

ア. 週1回以上見る イ. 月1回以上見る
ウ. 見たことがある（月1回以下） エ. 知らない・見たことがない

〔理由〕

問4

ア. 参加したことがある イ. 知らない・参加したことがない

〔理由〕

問5

- ア. 議場で傍聴したことがある
- イ. ケーブルテレビで見たことがある
- ウ. インターネットで見たことがある
- エ. 見たことがない

（理由）

問6

- ア. 大いに評価する
- イ. ある程度評価する
- ウ. あまり評価しない
- エ. 全く評価しない
- オ. わからない

（理由）

問7

- ア. 思う
- イ. やや思う
- ウ. 思わない
- エ. わからない

（理由）

問8

- ア. 必要だ
- イ. 必要ない
- ウ. わからない

（理由）

問 12 市議会議員に、毎月40万円の報酬が支給されています。
報酬について、どう思いますか。
(別紙、資料1「県下15市議会の状況」を参照してください。)

- ア. 適当だと思う イ. 多すぎると思う
ウ. 少なすぎると思う エ. わからない

{ 理由 }

問 13 問12で、報酬は「多すぎると思う」「少なすぎると思う」を選
ばれた方にお尋ねします。
あなたが思う議員報酬額とその理由をお書きください。

- ア. 20万円未満 イ. 25万円未満 ウ. 30万円未満
エ. 35万円未満 オ. 40万円未満 カ. 45万円以上

{ 理由 }

問 14 議員の調査研究のために必要な費用を支給する「政務活動費制度」
があります。現在、総社市では月額2万5千円が支給されています。
政務活動費についてどう思いますか。
(別紙、資料1「県下15市議会の状況」およびその裏面の資
料2「政務活動費とは」を参照してください。)

- ア. 適当だと思う イ. 多すぎると思う
ウ. 少なすぎると思う エ. 必要ない オ. わからない

資料2 アンケート依頼文

総社市議会に関するアンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、平素から議会活動に対し、ご理解とご支援を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、総社市議会では、より開かれ親しまれる議会を目指し、議会の活性化を図るため、さまざまな面から議会活動の検討、見直しを行っております。昨年12月には、議員定数等調査検討特別委員会を設置し、適正な議員定数や報酬、政務活動費の在り方について調査検討し、その結果を取りまとめていくことにしています。

この度のアンケートは、議会に対する市民皆様の率直なご意見・ご要望をお伺いし、今後の議会改革の資料として活用することを目的としています。

つきましては、市内にお住まいの20歳以上の方2,000人（男女各1,000人）を無作為に抽出したところ、あなたがその該当者となりました。

そこで、お手数をおかけいたしますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。調査表には、あなたのお名前を書いていただく必要はありません。ご記入等に当たっては、下記の方法をお願いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。なお、調査結果につきましては「市議会だより」や市議会のホームページでお知らせする予定です。

平成27年4月

総社市議会議長 剣 持 堅 吾

【記入方法等】

- 1 回答は、同封のアンケート調査票に直接ご記入ください。
- 2 調査票は、同封の返信用封筒に入れ、5月11日（月）までにご返送ください。
（切手を貼る必要はありません。）
- 3 この調査について、不明な点は下記までご連絡ください。

資料3 アンケート添付資料「県下15市議会の状況」

県下15市議会の状況（議員定数・報酬・政務活動費）

	面積 (km ²)	人口(人) ①注1	定数(人) ②	議員1人 当たり人口 (①/②)	議員報酬 (月額 円)	政務活動費 (月額 円)
岡山市	789.91	715,315	46	15,550	710,000	135,000
倉敷市	354.72	479,046	43	11,141	670,000	150,000
津山市	506.36	103,135	28	3,683	465,000	58,000
玉野市	103.63	61,255	20 注2	3,063	450,000	35,000
笠岡市	136.03	51,255	22	2,330	420,000	45,000
井原市	243.36	41,380	20	2,069	350,000	30,000
総社市	212.00	66,474	24	2,770	400,000	25,000
高梁市	547.01	33,008	20	1,650	342,000	30,000
新見市	793.27	31,371	18	1,743	330,000	30,000
備前市	258.23	35,606	16	2,225	355,000	25,000
瀬戸内市	125.53	37,007	20	1,850	350,000	20,000
赤磐市	209.43	43,136	18	2,396	350,000	30,000
真庭市	828.43	46,273	24	1,928	300,000	30,000
美作市	429.19	28,468	18	1,582	320,000	30,000
浅口市	66.46	34,572	18	1,921	350,000	30,000

注)1 人口＝岡山県毎月流動人口調査(岡山県:平成27年2月1日現在)

注)2 玉野市議員定数＝平成26年に条例改正後、最初の市議会議員選挙から(現在21人)

資料4 アンケート添付資料「『政務活動費』とは」

「政務活動費」とは

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されています。

総社市では「総社市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、政務活動費を受けようとする議員に対し、月額2万5千円を申請により交付しています。

政務活動費の交付を受けた議員は、使途の明確化と透明性を高めるため、領収書等の支出の事実を証する書類の写しを添えて、収支報告書の提出が義務付けられており、残余额は返還しなければなりません。

総社市議会では、議員全員の政務活動費の収支報告内容を市議会だよりや市議会ホームページで公表しています。

総社市議会に関するアンケート

－報告書－

発 行 者／平成 27 年（2015 年）7 月
発 行 者／総社市議会
問 合 せ 先／総社市議会事務局
〒719-1192
岡山県総社市中央一丁目 1 番 1 号
T E L （0866） 92-8332
F A X （0866） 92-8391
